

ショウティックかわら版

昭和電工株式会社喜多方事業所
昭和電工喜多方アルミ株式会社
発行日：2018年3月29日
第32号

喜多方事業所より

本年1月に総務部長に就任した中川です。
平素より当社の事業活動に対しましてご理解と
ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、当社にとって好調な年となりました。製品市況
の好転や海外企業の事業統合により、業績は大きく向上し
ております。株価が上昇したのも、この好業績を反映した
ものと思われます。

当事業所の事業においては、世界経済・日本経済の底堅い
回復を受け、高い稼働率を保ちましたが、収益的には満足で
きるものではありませんでした。技術力を一層磨き、コスト
ダウンを着実に進めることで、喜多方での事業を発展させて
いきたいと考えています。

今年は、1月から体制が変更になり、昭和電工喜多方アルミ(株)
が製造請負会社として発足し事業を行っております。この会社は、
社名の通り喜多方を本社にしており、地域とともに発展していく
会社になりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

一方で、マレーシアやポルトガルにある海外拠点のマザー工場
としての位置づけも変わらず、グローバルな視点も欠かせません。
喜多方を拠点に、両方で協力しながら世界を相手に事業展開を図
っていきます。

さて、今年最初の「ショウティックかわら版32号」をお届けします。
ご高覧いただき、当社の理解の一助になれば幸いです。



昭和電工株式会社喜多方事業所
総務部長 中川 尚



初荷式

1月5日、「初荷式」を執り行いました。
初荷式は、本年度最初の製品を出荷する際に、
事業の拡大と物流の安全を祈る行事です。

当日は恵まれた天候の中、製品を積み込んだ
車両の安全を祈念し、出発するトラックを参加
者で見送りました。その後、出荷された製品が
無事にお客様のもとへ届くよう祈りを込め、万
歳三唱をし、決意を新たにしました。



奉献酒の様子



初荷のぼりを付けて出発！



初荷式の様子

本年もお客様のご期待に沿い、高品質
な製品を、安全でタイムリーにお届けで
きるよう、一丸となって取り組んでまい
ります。

アルミ製品評価センターを開所

当社は、アルミ合金の開発強化のため、喜多方
事業所に研究施設「アルミ製品評価センター」
を設置し、2月28日、開所式を開催しました。

昨今、自動車における軽量化ニーズの高まりを受け、
サスペンションや駆動部品を始めとした自動車用部品で
アルミ製品の採用が拡大しており、今後も引き続き需要
の増加が見込まれます。当社は自動車用アルミ部材とし
て、連続鋳造棒ショウティック®および本製品を素材とし
た鍛造品と、大型押出品、電気自動車向けパワー半導体
冷却器を製造・販売しています。



アルミ製品評価センター全景



テープカットの様子

今後、これら製品が自動車のさらなる軽量化に貢
献するためには、高強度化を実現する合金技術の進
化が必須であり、今回、鋳造・鍛造品の製造・開発
拠点である当事業所に、アルミ製品評価センターを
新設することとなりました。

当センターでは、全社機能として合金解析・開発
にかかる機能を充実させ、鋳造・鍛造・押出品を
始めとした当社アルミ製品の合金開発を加速します。

当社グループは、高付加価値の製品・サービスを
提供し、世界規模での社会貢献を志向してまいります。

発行元：昭和電工(株)喜多方事業所(総務課)
お問合せ先：福島県喜多方市字長内7840
電話：0241-22-1261

